

工 事 番 号							
設計年度	令和6年度		急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区） 急傾斜地崩壊対策事業 三原市 本郷町上北方 県費補助 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 施工延長 L=40.8m 待受擁壁工 V=196m3 防護柵工 L=40m 水路工 L=37m							

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町上北方 急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 地下埋設物の事前調査
調査項目 地下埋設物
調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 公害対策

- 1 事前・事後調査
調査区分
調査区分
調査時期 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
（設計変更の対象とする。）
調査内容 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
範囲 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
監督員と協議するものとする
- 2 粉じん防止
管理内容 粉じん防止の散水
範囲 工事作業範囲

第4節 安全対策

- 1 交通誘導員
作業期間中の交通誘導員は、資材の搬入・搬出時において4人見込んでいる。
- 2 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節 その他

1 工事用機資材等の仮置き

受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

2 法定外の労災保険 の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月 広島版）『1-1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第2節 建設副産物

1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 有限会社シー・イー・サプライ建設発生土リサイクルセンター

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

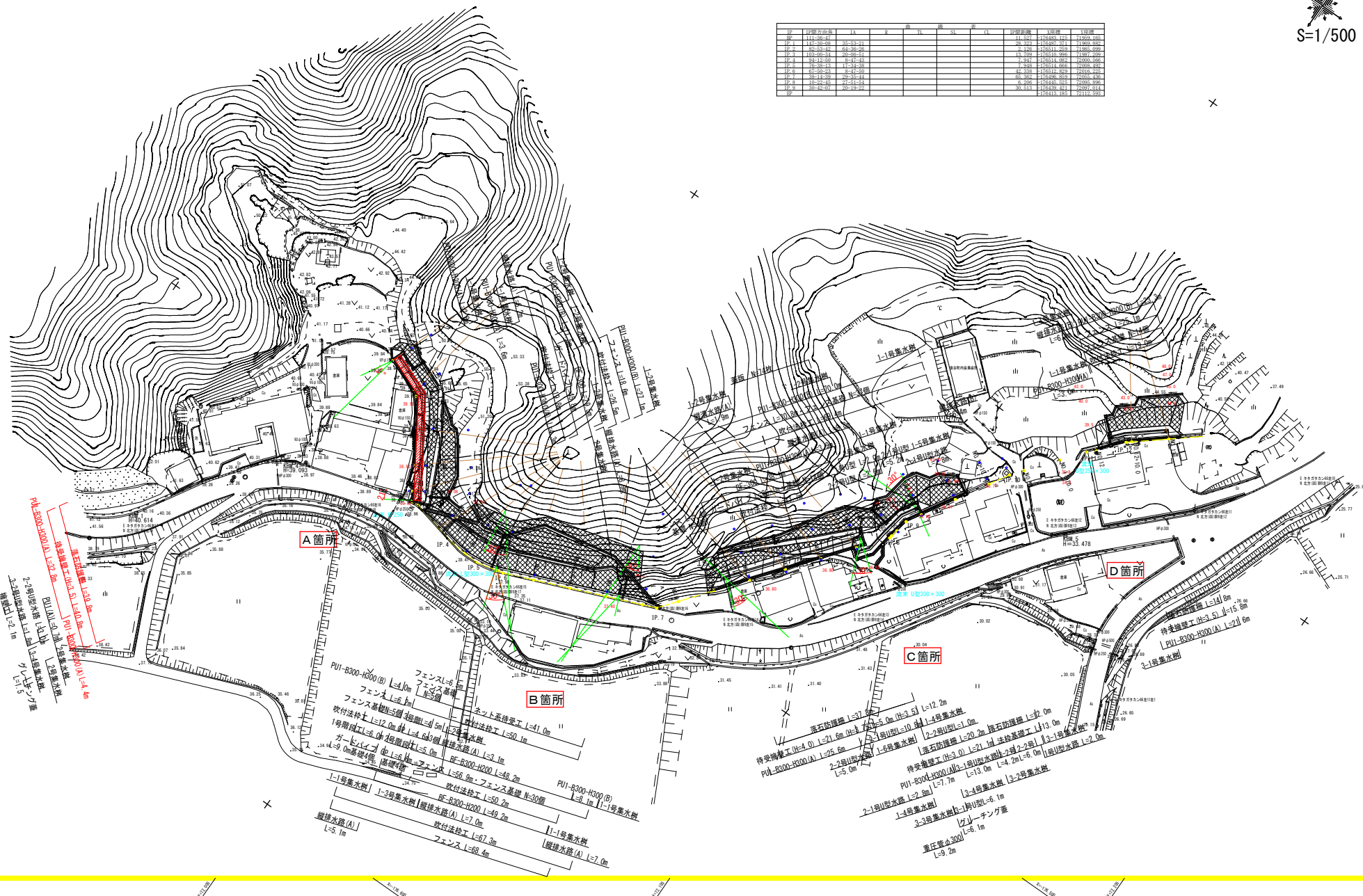
頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
斜面对策		式		1	レベル1
砂防土工		式		1	レベル2
残土処理工		式		1	レベル3
擁壁工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	レベル3
小型擁壁		m3		1	レベル4
重力式擁壁		m3		196	レベル4
落石防護工		式		1	レベル3
ロープ・金網	【柵高H=1.5m】	m		40	レベル4
支柱	【柵高H=1.5m 端末】	本		2	レベル4
支柱	【柵高H=1.5m 中間】	本		12	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	【PU1-B300-H300】	m		37	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通誘導警備員		人		4	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

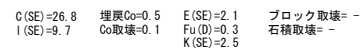
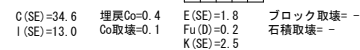
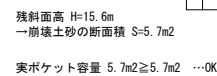
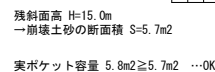
図面番号	1/5	縮尺	S=1:500
工 種	急傾斜地崩壊対策事業		
種 別	平 面 図	番号	1/1
路線 河川名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
三 原 市			



IP	IP 对应的方位角	IA	K	由	向	SL	CV	计算距离	Y 坐标	X 坐标
IP_1	114-20-41	75-32-31	1					11.567	1245854.125	119209.7
IP_2	114-14-38	75-32-31	1					11.562	1245845.125	119209.7
IP_3	82-52-47	64-24-26	2					2.126	1245511.252	119185.5
IP_4	1030-00-14	1030-00-14	3					11.379	1245503.692	119179.5
IP_5	94-12-50	84-15-43	4					7.947	1245514.057	119200.0
IP_6	67-35-13	17-24-38	5					12.634	1245114.052	119200.0
IP_7	67-35-13	3-24-38	5					12.634	1245114.052	119200.0
IP_8	38-14-39	39-14-14	6					46.382	1245496.582	119200.0
IP_9	25-24-45	39-14-14	6					25.906	1245445.752	119200.0
IP_9	30-42-07	30-12-22	6					50.513	1245420.421	119200.7

横断図 (2/3)

図面番号	4/5	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	横断図	断面	2/3
路線 河川名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
三原市			



参 考 資 料

－急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区）－

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 65 三原市(本郷) 00-06.05.01(0) 01-06.06.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 03 4週8休以上 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
砂防土工					Y1D0301 レベル2
	1	式			
残土処理工					Y1D030109 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土砂】					Y1D03010902 レベル4
	70	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)					SPK23040002 00
	70	m3			単第0 -0001 表
残土等処分					Y1D03010903 レベル4
	70	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 建設発生土					F000000100 00
	70	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
擁壁工					Y1D0304 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1D030401 レベル3
	1	式			
床掘り(掘削) 【土砂】					Y1D03040101レベル4
	80	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK23040001 00
	80	m3			単第0 -0002 表
埋戻し 【土砂】					Y1D03040103レベル4
	10	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK23040020 00
	10	m3			単第0 -0003 表
埋戻しコンクリート					Y1D03040103レベル4
	20	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK23040154 00
	20	m3			単第0 -0004 表
場所打擁壁工(構造物単位)					Y1D030404 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型擁壁	1	m3			Y1D03040401レベル4
小型擁壁 擁壁平均高さ0.8m以上1.0m以下 18-8-40BB 基礎碎石有り	1	m3			SPK23040069 00 単第0 -0005 表
重力式擁壁	196	m3			Y1D03040402レベル4
重力式擁壁 擁壁平均高さ2m以上5m以下 基礎碎石無し 均しCo有り	196	m3			SPK23040070 00 単第0 -0006 表
落石防護工	1	式			Y1D030411 レベル3
ロープ・金網 【柵高H=1.5m】	40	m			Y1D03041101レベル4
落石防護柵ロープ金網設置工(間隔保持材付) 柵高1.50m_ロープ本数5本 [規]15m以上 - - -	40	m			SS000159 00 単第0 -0007 表
支柱 【柵高H=1.5m 端末】	2	本			Y1D03041102レベル4
落石防護柵 支柱設置工(中間及び端末) 端末支柱設置_柵高1.5m -	2	本			SS000157 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱 【柵高H=1.5m 中間】	12	本			Y1D03041102レベル4
落石防護柵 支柱設置工(中間及び端末) 中間支柱設置_柵高1.5m	12	本			SS000157 00 単第0 -0009 表
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
プレキャストU型側溝 【PU1-B300-H300】	37	m			Y1E01090301レベル4
U型側溝 鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) 300B[300×300×600]	37	m			SDT00013 00 単第0 -0010 表
仮設工	1	式			Y1D0310 レベル2
交通管理工	1	式			Y1D031021 レベル3
交通誘導警備員	4	人			Y1D03102101レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

施工単価表

頁0 -0008

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.13% 労務構成比: 61.92% 材料構成比: 12.95% 市場単価構成比: 0.00%

SPK23040002
DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)

単第0 -0001 表
標準単価: 1,704.20000

1
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=23 距離5.0km以下(4.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 28.44%

標準
労務構成比: 59.55%

SPK23040001
材料構成比: 12.01%

単第0 -0002 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 1,147.40000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=7 土砂 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0010

埋戻し
土砂

SPK23040020
上記以外(小規模)

単第0 -0003 表

1
標準単価:

m3 当り
3,655.50000

機械構成比: 9.91%

労務構成比: 85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0011

埋戻し
土砂

SPK23040020

單第0 -0003 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91%

勞務構成比：

85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,655.50000

[illegible]

施工単価表

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB
機械構成比: 0.00%

SPK23040154

単第0 -0004 表

1
標準単価:

m3 当り
24,215.00000

人力打設

労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0013

小型擁壁
擁壁平均高さ0.8m以上1.0m以下
機械構成比: 3.50% 労務構成比: 76.86% 材料構成比: 19.64% 市場単価構成比: 0.00%
SPK23040069 18-8-40BB 基礎碎石有り

単第0 -0005 表
標準単価: 1 m3 当り
83,060.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2011 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	2.77%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能付・排2011 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00145 MTPT00145
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	23.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.93%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	18.88%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0014

小型擁壁

SPK23040069

單第0 -0005 表

擁壁平均高さ0.8m以上1.0m以下

18-8-40BB 基礎碎石有り

1 m3 当り

機械構成比: 3.50% **勞務構成比:**

76.86%

材料構成比: 19.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

83,060.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

重力式擁壁

SPK23040070

単第0 -0006 表

擁壁平均高さ2m以上5m以下

基礎碎石無し 均しCo有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.09%

労務構成比:

60.77%

材料構成比:

37.14%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

41,806.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	1.51%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	21.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	11.45%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	5.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
とび工	3.33%		とび工		RTPC00004 RTPT00004
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	36.81%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.24%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0016

重力式擁壁

SPK23040070

單第0 -0006 表

擁壁平均高さ2m以上5m以下

基礎碎石無し 均しCo有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.09%

勞務構成比：

60.77%

材料構成比: 37.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

41,806.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

落石防護柵ロープ金網設置工(間隔保持材付)
柵高1.50m_ロープ本数5本 [規]15m以上 - - -

SS000159

單第0 -0007 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

落石防護柵 支柱設置工(中間及び端末)

SS000157

單第0 -0008 表

端末支柱設置_柵高1.5m

本 当 り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

落石防護柵 支柱設置工(中間及び端末)

SS000157

單第0 -0009 表

本 当 り

中間支柱設置_柵高1.5m

[illegible]

数量総括表

急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区）

(急傾斜地崩壊対策工事 笹原地区)

[illegible]

土 量 配 分

発 生 土(土砂)

掘削 = 0.0 m³

床掘 = 79.7 m³

合 計 = 79.7 m³

必 要 土

埋戻(D) = 10.0 m³

合 計 = 10.0 m³

残土処分

(土砂) 発生土 - 流用土 × 1/変化率

V = 79.7 - 10.0 × 1/0.9 = 68.6 m³

作業土工 集計表

作業土工

種別 場所	床堀(土砂)	床堀(軟岩)	埋 戻 (種別D)	基面整正	埋戻コンクリート
A箇所	79.7	—	10.0	103.5	17.4
小型重力式擁壁工	—	—	—	1.5	—
計	79.7 m ³	0.0 m ³	10.0 m ³	105.0 m ²	17.4 m ³

作業土工 (待受擁壁工)					計 算 書			
測 点	距 離	埋戻(種別D) F u (D)			基面整正 K			摘 要
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	
		0.3			0.5			
BP	2.7	0.3	0.30	0.8	0.5	0.50	1.4	
		0.2			2.5			
NO.0+10.00	10.0	0.2	0.20	2.0	2.5	2.50	25.0	
NO.1	11.3	0.3	0.25	2.8	2.5	2.50	28.3	
NO.1+10.00	10.0	0.2	0.25	2.5	2.5	2.50	25.0	
NO.1+17.00	7.0	0.2	0.20	1.4	2.5	2.50	17.5	
	2.5	0.2	0.20	0.5	2.5	2.50	6.3	
合 計				10.0			103.5	

小型重力式擁壁工 集計表

小型重力式擁壁工

種別 場所	コンクリート	型枠	基礎碎石		
	1.05	4.68	1.51		
計	1.05 m ³	4.68 m ²	1.51 m ²		

小型重力式擁壁工						計 算 書		
測 点	距 離	コンクリート			型枠			摘 要
		断 面	平 均	立 積	長 さ	平 均	平 積	
NO. 1	0. 0	0. 14			0. 81			H=0. 4m
	2. 1	0. 86	0. 50	1. 05	3. 64	2. 23	4. 68	H=1. 8m
合 計				1. 05			4. 68	

1-3 待受擁壁工(H=3.5) 数量表

本体コンクリート規格、擁壁平均高さ:

40.8 m当り

項 目	規 格	単 位	数 量		備 考
			全 体	1m当り	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	196.4	4.8	
型枠		m2	297.3	7.3	
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	10.0	0.2	
同上型枠		m2	8.2	0.2	
水抜きパイプ	VU ϕ 100	m	20.3	0.5	
吸出防止材	t=10mm	m2	0.9	0.02	
足場		-	-	-	必要の有無=無

延 長 調 書

[illegible]

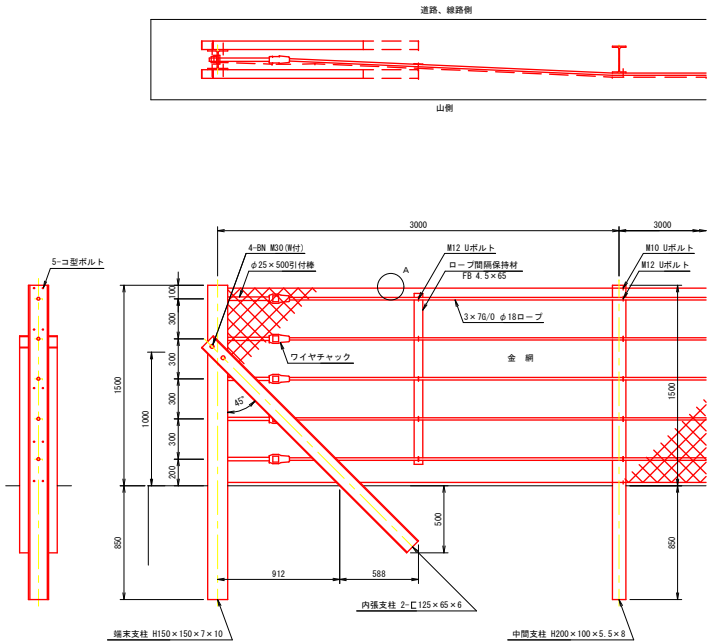
[illegible][illegible]

延 長 調 書

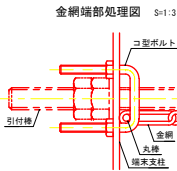
[illegible]

図面番号	／	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策事業		
種 別	構 造 図		縮 小 図
路線 河川	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
三 原 市			

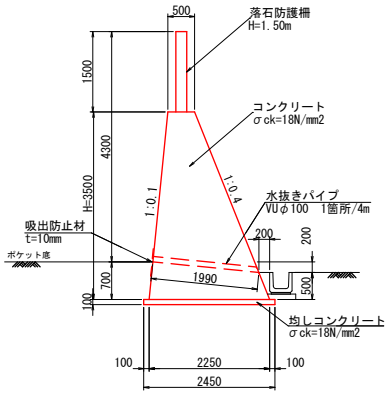
落石防護柵
S=1:20



構 造 図

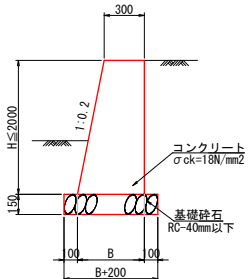


待受擁壁工 (H=3.5m)
S=1:50



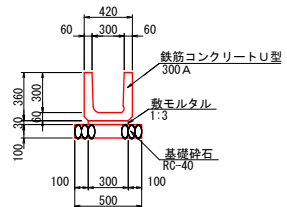
数量表		10m当り	
種 別	規 格	算 式	数 量
コンクリート	σck=18N/mm²	(0.50+2.25)/2×3.50×10.0	48.13m³
型 枠		3.50×(1.005+1.077)×10.0	72.87m²
均しコンクリート	σck=18N/mm²	2.45×0.10×10.0	2.45m³
同上型枠		0.10×2×10.0	2.00m²
水抜きパイプ	VUφ100	10.0/4.0×1.99	4.98m
吸出防止材	t=10mm	10.0/4.0×0.3×0.3	0.23m²

小型重力式擁壁工
S=1:20
(SGW72)



※擁壁の背面は良質土で埋戻すこと。

PU1-B300-H300 (A)
S=1:20

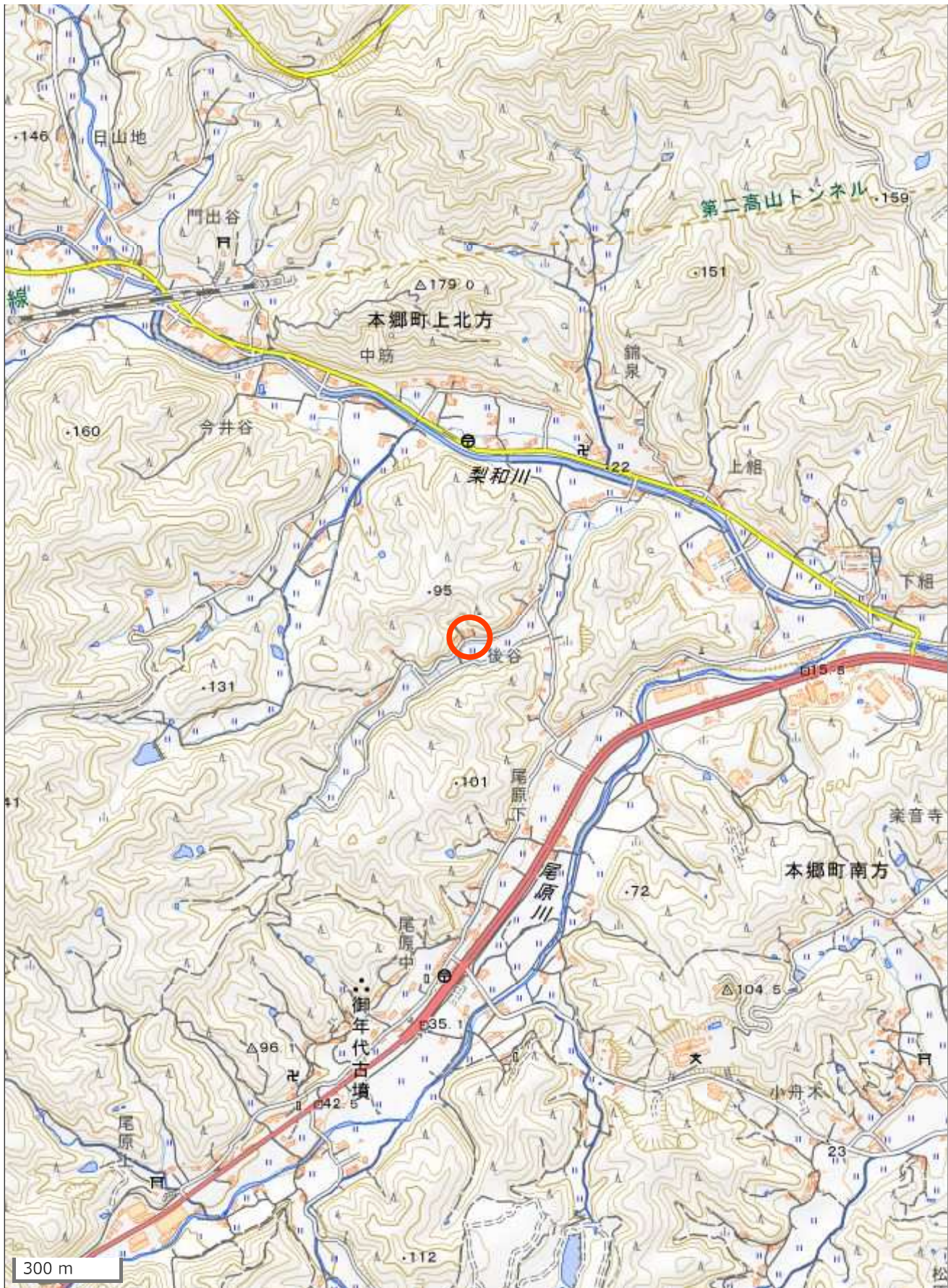


数量表		10m当り	
種 別	規 格	算 式	数 量
側溝	300A	10.0/0.605	16.5本
敷モルタル	1:3	0.30×0.03×10.0	0.090m³
基礎砕石	RC-40 t=100	0.50×10.0	5.0m²

数量表		1m当り	
H (m)	B (m)	コンクリート	基礎砕石
0.40	0.380	0.14m³	0.81m²
1.80	0.660	0.86	3.64

位置図

(34. 406361, 132. 949784)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。